

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

考える余裕を持たないと次に進めない？

強い組織、強い現場を作るための、やさしい現代マネジメント！

【忙しすぎて“やるべきこと”を先延ばし】

一つの事例ですが、企業内の従業員研修を受け持つA社は、最近まで“引っ張りだこ”だったそうです。特段“提案”をしなくても、ホームページ等から“申し込み”があるのです。

そんな状況下では、『提案書を作らなければ…』と思いつつも、そのために考える時間さえ、持てなかったのです。

【先延ばしのせいで“3連敗”】

ところが、類似テーマで競合する他社が現れ、事態は一変します。企業から問い合わせがあっても、それがいわゆる“相見積りのため”だったりするのです。A社は、企業からの問い合わせに対し、『3連敗を喫した』そうなのです。

【“敗戦”転じて“福”となる！】

しかしその結果、“考える時間”ができて、研修の提案書ばかりでなく、研修内容やホームページの修正もできました。アプローチの対象企業の絞り込みも行い、『今は、以前より自信を持って提案ができる』と、経営者は前向きです。次の一歩のためには“余裕時間”が不可欠です。

【“敗戦”なしに“福”を呼べないか？】

しかし、A社のように“受注失敗”というマイナス状況に陥る前に、“考える余裕”と“準備の時間”を作るには、どうすればよいのでしょうか。それ以前に、目先の状況に“振り回されがちな状況”からの脱出は、どうすれば容易になるのでしょうか。

【ある経営者の実践事例】

その“答”は、もちろん、必要性の低い業務を省略して、まずは“空き時間”を獲得することにあるのですが、その“効果的方法”を実践された経営者の事例があります。

単に“不要な業務を省略しよう”と考えただけでは実現しない“余裕創出法”が、ちょっとした視点変更で、実現に向かうと言うのです。

【マネジメント・レポートを差し上げます！】

そこで、その経営者の方の体験事例につき要点を絞ってとりまとめたマネジメント・レポートを、ご用意いたしました。

マネジメント・レポートは有料定期購読希望者にお渡しいたしますので、ぜひ、ご一報ください。



市場環境も国の政策も、次々に変化して行く中で、今、企業経営には“これまでにない挑戦”を強いられるケースが増えているはずですが、ところが、既存業務で“多忙”を極める組織では、なかなか“新しい課題”に取り組む余裕を見出せないのも、また現実かも知れません。

そんな中で『既存業務はもっと軽減できる』と指摘する経営者がおられます。そして『今、経営トップは“現場の働き方”にもっと積極的に関与すべきだ』と言われるのです。その具体的な内容とは…。

中堅中小企業の皆様に、現代的な“人”マネジメントの視点から、重要なニュースやノウハウをお届けする月例『経営さぷりめんとニュース』に、ご意見やご感想をお寄せください！

行政書士・社会保険労務士へんみ事務所

TEL : 022-292-2351

FAX : 022-292-2352

URL : <http://www.henmi-adm.jp/>